

## 日本式教育 エジプトにも 現地の教員20人 県内小学校を訪問



授業を見学するエジプトの小学校長ら  
＝27日、福井市春山小

日本の教育手法を取り入れているエジプトの小学校長ら20人が6月27日、県内の小学校を訪れ、日本の初等教育現場について理解を深めた。

福井大などが取り組む「エジプト・日本教育パートナーシップ(EJEP)」人材育成事業における研修の一環。EJEPでは、日本の教育のうち、公平性や協調性を養う「特別活動」に注目。現地の校長、教員が7月12日まで同大学で日本の教育を学んでいる。

福井市の春山小には校長5人が訪問。クラスの話し合いや給食の配膳など、特別活動に励む児童の様子を観察した。グループごとに協力して

1枚の絵を描く図画工作の授業などを見学。河村浩昭校長に対し、教職員の仕事やPTAとの関わり方など熱心に質問した。

アレクサンドリアの校長ヌーラ・ザイドさん(43)は「児童が自分たちで話し合っ  
て、自由に決めていく様子に  
感心した。エジプトに足りな  
いものは、子どもの自主性と  
保護者の理解、地域社会との  
関わりだと分かった」と話し  
た。

福井大は2018年からEJEP研修員の受入委託機関に選ばれており、研修員の受け入れは今回で2回目となる。  
(高谷優菜)